

平成30年11月22日

魚沼市議会議長 森 島 守 人 様

産業建設委員会

委員長 志 田 貢

産業建設委員会調査報告書

本委員会は、所管事務について下記のとおり調査したので、魚沼市議会会議規則第110条の規定により報告します。

記

- 1 調査事件名 (1) 行政視察の総括について
(2) その他
- 2 調査の経過 11月22日に委員会を開催し、11月6日、7日の行政視察の総括を行った。

産業建設委員会会議録

1 調査事件

(1) 行政視察の総括について

(2) その他

2 日 時 平成 30 年 11 月 22 日 午前 10 時 55 分

3 場 所 広神庁舎 301会議室

4 出席委員 星 直樹、大桃俊彦、富永三千敏、志田 貢、岡部計夫、森山英敏、
(森島守人議長)

5 欠席委員 なし

6 説明員 なし

7 書 記 櫻井議会事務局長、今井主任

8 経 過

開 会 (10 : 55)

志田委員長 定足数に達していますので、ただいまから産業建設委員会を開会します。

(1) 行政視察の総括について

志田委員長 日程第 1、行政視察の総括についてを議題といたします。今回の行政視察に対する各委員の感想、意見等の総括をお願いいたします。順次皆さんからご意見を伺いたいと思います。

星委員 初めてCLT加工でつくった建物に入ってきました。耐火性にすぐれ、断熱にも強く、コンクリートに比べ 10 倍、鉄に比べると 400 倍以上の高い断熱性能を持っているこの加工方法。今後活用、普及を通じて、安全安心な暮らしの場と、雇用の創出、地域の活性化と木材の新たな需要確立を魚沼に結びつけられるよう調査をしたいと思いました。続いて、道の駅です。多くのゴルフ場に囲まれ、関東からの日帰りにはちょうどいい距離にある道の駅だと感じました。景観もよく、施設もきれいに整備されていました。我が市の道の駅との違いは、地元市民の利用頻度だと思います。地元の方が野菜など、食材を買いに来る場としてこの施設が確立しているのには驚きました。人けがあるか、活気に満ちているか、なんでもそうですが、人が集まるところに人は寄ってきます。イベント以外でも人の集まるような工夫が必要だと感じました。

大桃委員 CLTについては、率直に言って、自分が描いていたCLTの実験棟ということで、加工の現場とかを見たかったなというのが本音で、ちょっと自分が描いていたのとは違ったなというのが感想です。ですけども、いろいろの説明を聞く中で、CLTの実験棟に見学に来るのはゼネコン会社が多いということ、それからこのCLTを使うには、インテリア的な使い方、アクセントやポイントなどに使うようなところが、若者に需要が広がりそうだという説明を聞いてきました。また魚沼市としても、こういう資源を使ったCLT加工工場を他に先駆けて持つことで、幅広い需要に対応ができるのではないかと感じました。それからCLT以上に注目されている、ナノセルロースとの違いを今後注目して見ていきたいなと感じてきました。それから常陸大宮のかわプラザですが、一口で言うてうらやましかったというところです。市民の70%が何もないまちだという答えの中から、そこから始まったとも言えるようなかわプラザですが、国道118号沿いの場所に並ぶように久慈川が流れるという、自然に触れ合う施設づくりであるというふうに感じてきましたし、地元JAあるいは商工会等と協力しながら160種以上の商品を近隣農家が栽培しているというようなことで、うらやましくも感じてきました。たまたま、きのうのテレビでえごまが非常に体にいいというような話もしていましたので、また注目して見ていきたいなというふうに感じました。またその川沿いに市民の要望を含めた中で、竹林が景観の良さをしているように感じた、素晴らしいなというふうに感じてきました。状況は、この魚沼と環境的には違うところはありますけども、やはり住民と協力しながらつくり上げていくことも必要なのかなと感じて帰ってきました。

岡部委員 私、けさ、この報告書を出したんですけども委員長のところには届いてますか。

志田委員長 いえ、まだ私のほうには来てないです。

岡部委員 この日提出ということなんで、出したんで、皆さんが出してるもんだと、こう思ってたんですけども、その辺の取り扱いについてまた検討をお願いします。報告ということで私の所見を。今現状日本においてはコンクリートの建物というのが主流になっているんですけども、日本においては80%が森林の国で、この森林の整備と木の需要の創出、木材の利活用、日本の伝統である木の建築文化、こういうものを継承できるということでもありますので、今後地方創生に向けて大いに期待ができるんじゃないかなというふうに、CLTについては考えております。道の駅については、主体となった岩崎地区からも、地元の請願があって、国道118号のところは何もないというようなことで、約20億をかけて、道の駅をつくったわけなんですけども、そこでは旧自治体では20万人くらいのお客しかいなかったんですけども、それが170万人になり、新たに平成30年度から観光のまちづくりということで、観光振興基本計画をつくって、そして200万人を目指していくという取り組みは魚沼市も做ってやる可能性があるんじゃないかなというふうに感じて帰ってきたところです。

森山委員 CLTに関しては、前から興味を持っていろいろ調べて、岡山県の真庭市にも行ってきているんですが、当委員会でも相当前からいろいろ市のほうも研究していた、バイマス発電、これとCLTで何とか魚沼市の林業が再生できないかなというような期待を持って勉強しに行ってきたんですが、残念ながら個人の住宅の需要では、このCLTが供給過剰の状態だという話を聞いて、何とか新潟県にこういった工場が来てもらえないかなという期待を持っていたんですが、残念ながら現状では少し厳しいなという感じを受けてきま

した。ですので、また別の角度で何とか魚沼市の林業再生に向けて、また研究していかなければならないかなというふうに思っております。ただ、まったく使えないということではなくて、有効な活用方法も工夫によっては相当あるということでございますので、建築関係の方々からは何とか利用していただいて、CLTが、この地域というよりは国内の林業の再生に役立てるように何とかしていただきたいなというふうな感じを持って帰りました。もう一点、常陸大宮市のかわプラザですが、これにつきましては、非常に注目しているのが合併特例債を使って、市主導でこれをつくったということで、魚沼市においては、なかなか行政主導でこれだけの小売人口を目指す施設というのは、なかなかないわけですので、これは行政の取り組みの一つのとしては非常にいい成果が上がっておりますし、地域の農業の活性化にも役立っているということでございます。なかなか人口減少社会において、ある程度市が主導を取ってこういった政策を展開していかないとやはりこの地域もなかなか活性化ができないのかなと感じてまいりました。年間 60 万人からの集客がありますので、できればこの地域でもこういった市を中心として取り組みを期待したところでございます。

富永委員 CLT実験棟なんですけども、名称から考えて自分の印象としては木材の無垢のもの、それから普通の合板とか、そういった数値的な強度を比較するために、そういった施設があって、実験をする施設かと思って期待して行ったんですけど、そうではなくて、展示するだけの施設であったので少し残念だったんですけども。皆さん言われてますけども、この地域でそれを活用することができればいいと思うんですけども、やはりこの地域の山の地形としては山が小さく、入り組んだ沢になっているので、伐採、集材がちょっと困難かなと思ってます。それを何とか工夫して実現できれば、森林面積の多い当市でありますので、これはいい産業にはなるかと思えます。ただ、ちょっと難しいかなということと、あと確かその材料、製品のですね、1立方メートル当たり1万円の国の補助があるということですけども、その制度が継続しない限り、ちょっと実現性は少ないのかなと思ってきました。できれば、何とか工夫をして、この地域でそういった産業なりができればいいかと思うんですけども、まだまだ研究する必要があるかなと感じています。かわプラザなんですけど、あのまちが観光基本計画を策定して、観光交流人口の拡大を考えて取り組んだということでそういったこの市民の道の駅を設置してほしいという要望をくんでの計画を実行したということですけども、名称がかわプラザということで、もう少し川に親しむようなそういった道の駅かなと思ったんですけど、そうではなくて川のそばに、川と国道に挟まれた地形のところに設置をしたというそういった施設でありました。10年前の観光交流人口が約30数万人から、現在150万人にまで増加しているということで、約5倍にもなってますので、市が主導した中できちんと観光基本計画があって、それに基づいてやった事業ということですので、このまちも観光振興の計画をもう一度考え直して、大もとの競争の考え方に沿った中で、それぞれの観光振興ができればいいかなと感じてきました。

志田委員長 ありがとうございます。行政視察の総括につきましては、ただいま委員の皆さまから報告をいただいた意見を報告書にまとめ、議長宛に報告させていただきたいと思っております。ご異議はありますか。(異議なし)

富永委員 その方法なんですけども、やはり皆さんこうして行政視察の総括ということで、

それぞれ感じたことをきちんと文書なりにしていますので、個々の委員から提出していただいたらどうでしょうか。

志田委員長　先ほど、岡部委員からもお話しがあったように報告書ということで、私から皆さん方にきょうの委員会のために、できれば報告書をそろえていただきたいような旨のお話しをさせていただいたんで、そのことを先ほど岡部委員が言ったと思うんですけども、今富永委員が言ったように、各自報告書を出す方向で行くのか、それとも1つにまとめる……。

〔何事が呼ぶ者あり〕

志田委員長　すいません、まとめさせていただきます。各自で報告書を私に出してもらって、それを私がまとめるという形でよろしいでしょうか。(異議なし)では、皆さまから報告書をいただいたものを委員長がまとめさせていただきますので、よろしくお願ひしたいと思います。他に行政視察について何かありませんか。

大桃委員　書式があるというふうに聞いたんですけども。特になければそのまま提出します。

志田委員長　書式はあるんですが、書式じゃなくても、そのまま結構です。それを私がまとめますので。他にありませんか。(なし)なければ以上で総括としますが、今回研修してきた内容については、各委員の議員活動又は委員会でも引き続き検討課題として、調査していくこととし、本件は以上とします。

(2) その他

志田委員長　日程第2、その他を議題とします。委員の皆さまから、ご意見、協議事項等ありませんか。(なし)本日の会議録の作成については委員長に一任願ひます。本日の産業建設委員会は、これにて閉会します。

閉　　会 (11:12)